

かていがくしゅうのてびき(1年生)

はじめ まえ 始める前に

- ◇がっこうからのおてがみなどを、おうちのひとに わたしましょう。
- ◇つくえのうえや、まわりを せいとんしましょう。
- ◇テレビをけて、しずかにしましょう。

言われたことをこなすだけの家庭学習から、自律的に取り組み、**学力と、自分で学習する力を身に付ける家庭学習**への転換を図っていくための手引きです。

令和4年度 長崎市立小江原小学校

保護者の皆様



1 自律的な家庭学習

① 家庭学習を始める前に

- 学校からの配布物を確認する。
(直接受け取れない場合は、出す場所を決めておく)
- 学習する場所の整頓をする。
- テレビなどを消し、静かな環境にする。

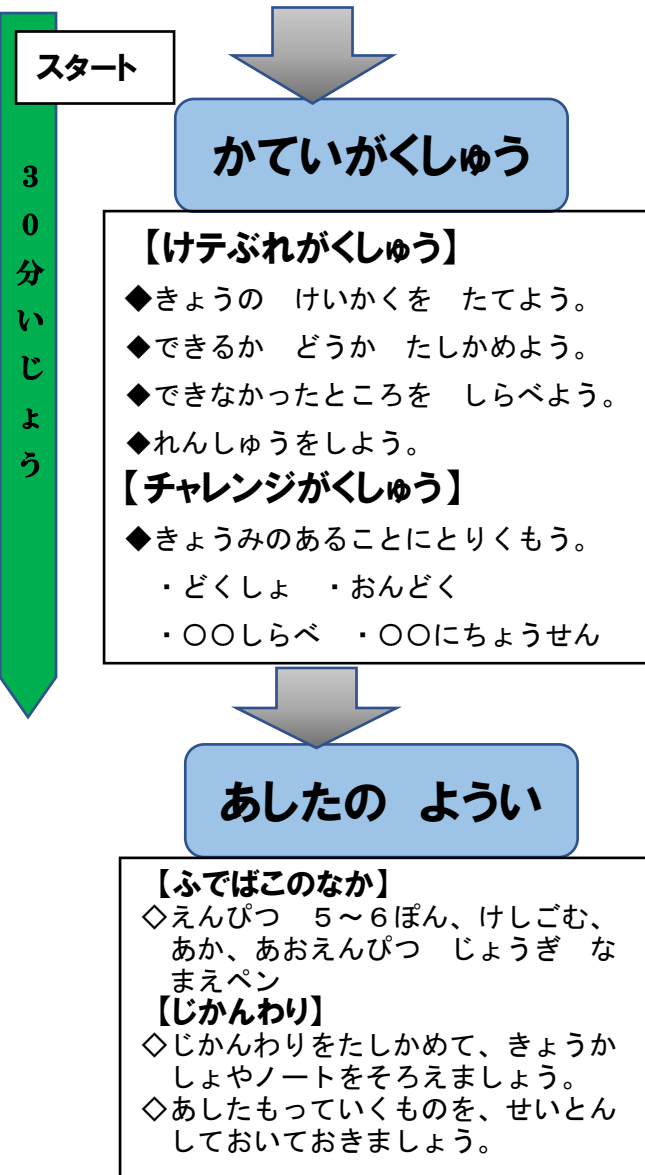
② 家庭学習の手順(けてぶれ学習)

- (1) 何に取り組むか決める (計画)
- (2) できるかどうか確かめる (テスト)
- (3) 間違ったところを調べる (分析)
- (4) 身につくように練習する (練習)

2 家庭学習における保護者の役割

- ① 毎日机に向かう習慣づくり
- ② 学ぶための静かな環境づくり
- ③ 見守り、目を通し、励ます
- ④ 気になることは、担任に知らせる

では、かていがくしゅうを はじめましょう!



かていがくしゅうようノートをよういしよう!

【計画】けいかく

- がっこうのがくしゅうで むずかしかったこと、おぼえたいこと、じょうずになりたいこと などのなかから、することやがんばることをきめてかく。(じぶんできめられないときは、せんせいから、することをいわれることもあります。)

- ・さんすうのけいさん ・ひらがなやかんじをかくこと ・おんどく など

【テスト】テスト

- じぶんで もんだいをして まるつけをして、できるかどうかたしかめる。

【分析】ぶんせき

- まちがえたところや よくできなかったところをしらべて、わかったことやおもったことをかく。

【練習】れんしゅう

- できるようになるためにれんしゅうする
- ・にている もんだいをする。
- ・まちがったじを ただしく かく。
- ・すらすらよめるように なんどもよむ。など

